



ヘルプ ログアウト

申請者向けメニュー > 申請書作成 (申請書情報入力 > 申請書確認 > 申請書確認完了)

申請書情報入力

<注意事項>

- 申請書は申請書情報入力と申請内容ファイル(Word又はPDF)から構成されます。両者の内容については整合性を取ってください。
- 申請内容ファイル様式をダウンロードしていない方は「受付中公募一覧」へ戻り、ダウンロードしてください。
- 申請書情報入力欄に表示されている個人情報に誤りがないかを確認し、誤りの場合は所属機関担当者に連絡して修正してから入力してください。
- *のついた項目は必須項目です。
- 5桁の「小区分コード」を入力して[確定]ボタンを押すと、「書面審査区分」欄と「合議審査区分」欄に対応する区分名が自動的に表示される場合と、されない場合があります。「書面審査区分」欄と「合議審査区分」欄が自動表示されず、選択可能になっている場合はプルダウンの選択肢から審査を希望する審査区分を選択してください。
- 「書面審査区分」欄には50文字まで表示され、51文字目以降は省略され「…」が表示されます。その場合は必ず本申請書入力後、確認用に生成される申請書(PDFファイル)上で「書面審査区分」欄が正しく表示されているかを確認してください。
- 入力中に、一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックして情報を保存してください。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」を参照してください。

次へ進む

一時保存

保存しずばい

事業選択の画面で正しい国・振興会対応機関名を選択してください。振興会に提出したあとで、差し替えることはできません。

2020年度 独立行政法人日本学術振興会

二国間交流事業 オープンパートナーシップセミナー 申請書

【小区分コード等の記載要領】

- 小区分コード
「一覧」ボタンをクリックして「審査区分表」を参照の上、5桁のコードを入力（もしくは一覧から選択）し「確定」ボタンをクリックしてください。
- 小区分
によりコードに該当する「小区分名」が表示されます。
- 書面審査区分
- 1：小区分コードに応じて書面審査区分と合議審査区分が自動的に決まる場合自動的に表示されます
- 2：小区分コードを入力後、審査を希望する書面審査区分と合議審査区分を選択する必要がある場合希望する審査区分をプルダウンメニューから選択してください。

注意

実際には表示された書面審査区分ではなく、選択した小区分に応じた「書面審査セット」において書面審査が行われます。必ず「二国間交流事業 書面審査セット表」で審査セットを参照の上、申請書を作成してください。審査方法や審査区分表、書面審査セット表など、審査に係る詳細は二国間交流事業のホームページをご覧ください。
https://www.jsps.go.jp/j-j-bilat/semina/shinsei_shinsa.html#2

【日本側セミナー代表者】

氏名	(漢字等)(姓)学振 (名)さくら (ローマ字)(姓)GAKUSHIN (名)Sakura *(フリガナ)(姓) (名)
生年月日	*(西暦) 年 1 月 1 日 (2020年4月1日現在 満才)
所属機関名	(コード)99999 (和文)独立行政法人日本学術振興会 (英文)Japan Society for the Promotion of Science
部局名	(コード)9999 (和文)国際事業部 (英文)*
部局種別	部
職名	(和文)* 「その他」の場合: (英文)*
e-Rad研究者番号	* 8桁の入力制限があります
最終学位取得年月	*最終学位: *(西暦) 年 1 月
所属機関連絡先	*Email:

【相手国・地域側セミナー代表者】

※アクセサン記号等の特殊文字は使用不可です。

氏名	*(英文)(ファミリーネーム) (ファーストネーム) (ミドルネーム)
所属機関名	(和文)* (英文)*
部局名	(和文) (英文)
職名	(和文)* (英文)*
所在地(都市名)	

セミナー名	*(英文: 桁数は200字以内。化学式、数式は使用不可。) *(和文: 桁数は40字以内。化学式、数式は使用不可。)	
期間	(第1希望)* (西暦) 年 1 月 1 日 ~ (西暦) 年 1 月 1 日 (日間) (第2希望) (西暦) 年 1 月 1 日 ~ (西暦) 年 1 月 1 日 (日間)	
開催地(都市名)	セミナー開催国* ○ 日本 ○ 相手国 (第1希望)* (第2希望)	参加者数 (代表者は除く) (日本側参加者 名) (相手国・地域側参加者 名) 名 (参加者氏名欄に入力された人数に、その他の参加者欄の人数が自動加算されて表示されます。)

一時保存

	我が国で 開催される セミナー		A. 準備会 _____千円 _____日間 × _____人 _____千円 _____日間 × _____人 B. 本会合 _____千円 _____日間 × _____人 C. 整理会 _____千円 _____日間 × _____人		印刷製本費 _____千円 通信運搬費 _____千円 会議費 _____千円 レセプション費 _____千円 エクスカーション費 _____千円 謝金 _____千円 消耗品費 _____千円 雑役務費 _____千円
(計)千円	相手国で 開催される セミナー	(計) _____千円 _____日間 × _____人 _____日間 × _____人 _____日間 × _____人	(計)千円 A. 準備会 _____千円 _____日間 × _____人 C. 整理会 _____千円 _____日間 × _____人	—	(計)千円 印刷製本費 _____千円 通信運搬費 _____千円 会議費 _____千円 謝金 _____千円 消耗品費 _____千円 雑役務費 _____千円

注1) 我が国の研究者に係る外国旅費と国内旅費の単価は、我が国のセミナー代表者の所属機関の旅費規程等に従って積算してください。
注2) 実際の支給額は、消費税及び地方消費税相当額を含みます。また、査定に基づき申請された額から減額される場合があります。

一時保存

【相手国側研究者に対する研究交流経費等】

相手国側研究者が本申請課題に使用できる研究交流経費を相手国側省庁・学術振興機関等から獲得している(あるいは予定の場合)には、下記表へ記入してください。

1) 相手国側申請先省庁名・学術振興機関等名	2) 申請先プログラム名	3) 申請状況	4) 支給(予定)期間 月の入力は任意	5) 支給(予定)総額の うち、当該交流課題 実施に充てる額
▼	▼	▼	年 月 ~ 年 月	日本円換算額 _____千円
▼	▼	▼	年 月 ~ 年 月	日本円換算額 _____千円
▼	▼	▼	年 月 ~ 年 月	日本円換算額 _____千円

注1) 1)の相手国側申請先省庁名・学術振興機関等名、及び2)申請先プログラム名は、英語で記入してください。なお、相手国側研究者の大学の研究費や学術振興機関等の競争的資金、または日本学術振興会以外の機関(文部科学省、独立行政法人、大学等)と相手国側機関との覚書等に基づく事業により、相手国側研究者の経費の措置がされている、またはされる予定である場合も、この表に詳細を記入してください。

注2) 2)申請先プログラム名について、本申請のオープンパートナーシップに対応する相手方の研究交流経費として、日本学術振興会と相手国学術振興機関が共同で募集している二国間交流事業(A 対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー)を充当することはできませんので、御注意ください。相手国側研究者が上記(A 対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー)枠での申請を考えている場合には、両国で同時に申請することが審査の条件となるため、日本側申請者も(A 対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー)枠で同時に申請してください。

注3) 5)の支給(予定)総額には、おおよその日本円換算額を記入してください。本欄では、相手国側が獲得している経費を記載してください。

申請に当たり、下記注意事項を確認の上、それぞれの項目にチェックを付してください。

- 申請する共同研究/セミナーについては、相手国側共同研究/セミナー代表者の同意を得た上で作成しています。



申請内容ファイル選択

記入した申請内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。

 参照...

< 申請内容ファイル > は本会ウェブサイト
(http://www.jspso.go.jp/j-bilat/seminalshinsei_bosyu.html) よりダウンロードした電子
ファイル (Word等) で作成してください。

- ・ 申請内容を修正する場合は、修正済みの申請内容ファイルを選択しなおすと、前のファイルが削除されて上書きされます。
- ・ 申請内容ファイルに修正がない場合、申請内容ファイル選択欄は空欄のまま構いません。
- ・ 申請内容ファイルについてはWordファイルの代わりにPDFファイルを選択することも可能です。(PDFファイルは申請内容ファイル様式(Word又は本会が提供する様式)を基に作成したものに限りです。)

次へ進む 一時保存 保存せずに戻る

ログアウト